

ブロードウッド社製 スクエア・ピアノ (John Broadwood & Sons)



修復者 太田垣 至 氏 (2012年)

1979年生まれ、現在埼玉県川越市にて歴史的なピアノなどの鍵盤楽器の修復や製作を行う。
国立音楽大学楽器学資料館や浜松市楽器博物館の所蔵楽器の管理を委託されている。

この楽器は1814年頃、イギリス最古のピアノ・メーカー「ブロードウッド社 (John Broadwood & Sons)」で製作されたものです。創業者ジョン・ブロードウッド (1732-1812) が1782年に会社を設立し、その後1795年に息子のジェームスも一緒に製作を手掛けるようになったことで、社名に「& Sons」が付け加えられました。バッハの息子でロンドンで活躍したヨハン・クリスティアン・バッハを筆頭に、ハイドン、ベートーヴェン、ショパン、リスト...名だたる作曲家たちがこのピアノを演奏し、あるいはこのブロードウッド社のピアノで名曲を書き上げました。

さて、そのようなブロードウッド社の製品において、特に面白いのがこのような箱型のピアノ、通称「スクエア・ピアノ」です。もちろん現在のグランドピアノのような形の楽器もありましたが、家庭用としてはいささか大きすぎることもあり、当時のロンドンの住宅事情と工業先進国だったイギリスの技術力が相まって、このようなタイプのピアノが急速に普及したのです。形だけではなく、特徴的なのはその内部の機構です。18世紀当時、ピアノが弦を叩くための「アクション」と呼ばれる部分には、大きく分けて「ウィーン式」と「イギリス式」の2つのタイプがあり、それぞれしごきを削っていました。この楽器はもちろん「イギリス式」です。これは「突き上げ式」とも呼ばれ、鍵盤に連結していないハンマーを下から突き上げることによって音を出す構造で、強い打弦で重厚感のある豊かな響きを作り出すのに適していました。

ブロードウッドが製作した楽器はこの「イギリス式」のアクションに加え、それまでは手や膝で捜査していたペダルを、足元で操作するように改良した特許を取得しています。他にも弦の張力をより強くするべく、金属で補強されたフレームを開発するなど、現代にも通じるピアノの礎となった楽器なのです。



ソプラノ 田中 樹里
Juri Tanaka

神奈川県出身。東京藝術大学音楽学部声楽科卒業。同大学院修士課程オペラ専攻修了。スウェーデン・イエテボリ大学音楽演劇学部オペラコースに留学。大学卒業時アカンサス音楽賞及び同声会賞受賞。野村国際文化財団奨学生としてイタリアでベルカント唱法を学ぶ。藝大定期オペラ《皇帝ティートの慈悲》でデビュー後、オペラの舞台上で活躍。現在、東京藝術大学附属高等学校、カノン音楽教室講師。日本声楽家協会研究員。



ピアノ 小川 加恵
Kae Ogawa

岐阜県池田町出身。東京藝術大学、デン・ハーグ王立音楽院修士課程フォルテピアノ専攻修了。2008年にデン・ハーグ・ピアノ五重奏団を結成・主宰し、ヨーロッパ各地の主要な音楽祭に出演。

2011年オランダ・ファン・ワセナール国際アンサンブルコンクール第1位。2017年3月NHK-BSプレミアム「クラシック倶楽部」に出演。フォルテピアノ等の歴史的ピアノの演奏を専門に活動している。

宗次ホール主催の新作コンサートチラシを毎月自宅にお届けする
宗次フレンズ 会員募集中!!

宗次ホールは
会員登録していただいた方に毎月無料で
新作チラシをご自宅にお届けします。

会員登録・年会費 無料

詳しくは、宗次ホール (052-265-1715) までお問合せ下さい。

交通アクセス
地下鉄栄駅 ⑫ 番出口より東へ徒歩4分

くらしの中にクラシック

宗次ホール
Munetsugu Hall

名古屋市中区栄4-5-14 〒460-0008
TEL:052(265)1715 FAX:052(265)1716
E-mail info@munetsuguhall.com
URL www.munetsuguhall.com

宗次ホールチケットセンター
営業時間:10:00~16:00
※13:45以降に開演の公演がある場合は18:00まで営業
年中無休(年末年始、施設メンテナンス日を除く)